

南阿蘇村に甚大な被害をもたらした熊本地震から4年。新型コロナウイルス感染症により日本中が暗い話題で覆われるなか、令和2年4月10日に一つの明るいニュースが流れました。

国土交通省から、国道325号阿蘇大橋ルート(以下、新阿蘇大橋とする)、国道57号現道部分、国道57号北側復旧ルートの開通時期について、またJR九州より、豊肥本線全線復旧の時期について、正式に発表されました。

これまで、約50年の長きにわたり南阿蘇村民の日々の生活に大きな役割を果たし、南阿蘇村を始めとする阿蘇地域に、観光客を招き入れてきた阿蘇大橋の復旧については明確な時期が示されていませんでした。

そのような状況下での今回の新阿蘇大橋開通時期の発表は、交通状況がただ改善されるだけではなく、目に見える形では実感のしにくい「復興」というものを感じ取っていただけでもないかと思えます。

熊本だけでなく、日本全国が新型コロナウイルス感染症による自粛ムードのなか、少しでも明るい話題を提供できればと思い、これまでとこれからの南阿蘇村における各種復旧、復興の状況を特集します。

## これまでの主な復興の歩み

### 2016年

- 4月14日 「前震」21時26分ごろ益城町で震度7(南阿蘇村は震度5弱、目立つ被害は無し)
- 4月16日 「本震」1時25分ごろ南阿蘇村で震度6強(益城町と西原村で震度7)
- 4月25日 熊本地震が激甚災害に指定される
- 5月10日 仮設団地建設着手(長陽運動公園仮設団地)
- 5月19日 天皇皇后両陛下による避難所慰問
- 6月20日 梅雨時期の豪雨による土砂災害で被災地域の被害が拡大
- 7月7日 仮設団地への入居開始(長陽運動公園仮設団地)
- 7月31日 南阿蘇村鉄道(高森～中松間)が108日ぶりに運行再開
- 10月31日 立野地区(立野区、新所区、立野駅区)の世帯が長期避難世帯に指定される
- 12月24日 県道28号熊本高森線(俵山トンネルルート)仮復旧(8カ月ぶり)

### 2017年

- 3月25日 地震により工事が延期されていた南阿蘇村役場新庁舎の完成
- 4月16日 長陽体育館にて熊本地震犠牲者南阿蘇村追悼式開催
- 4月24日 旧長陽庁舎にて国土交通省熊本復興事務所が開所
- 8月27日 阿蘇長陽大橋(村道柘の木～立野線)が応急復旧する(1年4カ月ぶり)
- 10月30日 立野地区(立野区、新所区、立野駅区)の長期避難世帯指定が解除される
- 12月14日 県道28号熊本高森線(俵山トンネルルート)の鳥子地区区間が部分復旧

### 2018年

- 3月3日 南阿蘇鉄道災害復旧工事着手式(立野～中松間)

### 2019年

- 2月16日 災害公営住宅への入居開始(下西原第1団地)
- 8月31日 仮設団地の一部閉鎖(岩坂仮設団地、室第二仮設団地)
- 9月14日 県道28号熊本高森線(俵山トンネルルート)の全面復旧

### 2020年

- 3月4日 高野台防災公園落成
- 3月18日 村道喜多～垂玉線全面復旧



多くのランナーが南阿蘇を駆け抜けた  
みなみあそ復興マラソン

主な今後の復旧状況は上記に図示しているとおりですが、その他にも、平成30年3月3日に災害復旧工事着工式が開催され、現在は高森～中松区間で運行を行っている南阿蘇鉄道については、具体的な時期は未定であるものの、令和4年度中に復旧工事を終え、令和5年の夏頃に全線再開する見込みとしています。

また、建設課所管の災害復旧事業について、令和2年3月時点で事業全体入居者の受け入れ先として建設が進められていた災害公営住宅についても、令和元年10月27日に最後の下西原第2団地が落成し現在87世帯161人の入居者を受け入れています。最大で397世帯の避難者を受け入れていた仮設団地は、現在では3つの団地において解体が終了しており、令和2年4月時点で4団地17世帯の入居となり、令和2年度中にはほとんどの仮設団地



南阿蘇鉄道災害復旧工事着工式の様子

の供与が終了し解体が開始される予定となっております。

去年の12月には南阿蘇村で初となる「みなみあそ復興マラソン」が開催され、県外からの188組の参加者を含む1354組のランナーが南阿蘇村を訪れ、また甚大な被害を受けた黒川地区と立野地区では「黒川ウォーク」、「立野フットパス」などが行われ、地域と観光客が触れ合い、地震後の村の復興状況を体感し、被災地の現状とこれらについて知っていただきました。

このように南阿蘇村は確かな足跡を残しながら復興への歩みを進めています。

# 新阿蘇大橋について 聞いてみた

現在、熊本地震により崩落した阿蘇大橋から約600m下流に昼夜を問わず、24時間体制にて新たな橋が築かれています。その橋は、形式をPC3径間連続ラーメン箱桁橋（一部区間）とし、



新阿蘇大橋完成イメージ図 ※国土交通省熊本復興事務所提供

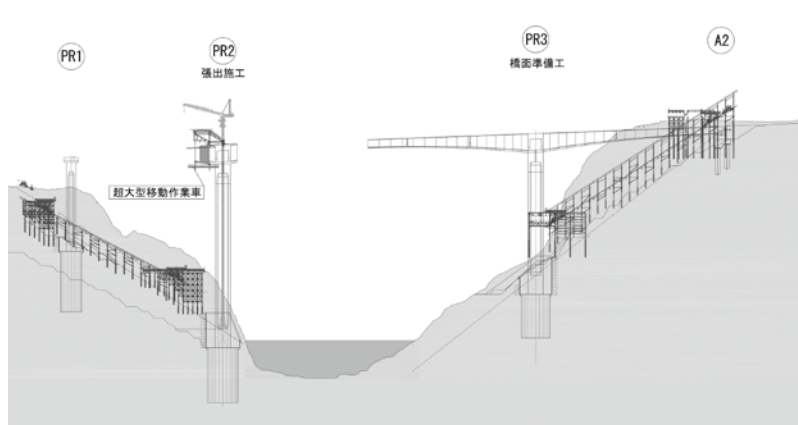
アプローチ橋まで含めるとその全長は525mとなり、この形式では国内最大級の規模となります。

今回の新阿蘇大橋（橋梁名称は仮称）の建設は、南阿蘇村の観光だけでなく、観光立県を推進する熊本県としても大きな希望となることから、着々と進められている熊本城修復と並び、熊本復興プロジェクトの2大シンボルと言ってもよいのではないのでしょうか。

そのような、まさに「復興への架け橋」となる新阿蘇大橋建設工事について、旧南阿蘇村役場長陽庁舎に現在設置してある国土交通省熊本復興事務所の大川建設専門官に取材をおこないました。

## 新阿蘇大橋の工事状況は現在のどの段階か？

これまでに土工区間の改良工事、全橋台・橋脚8基の下部工、アプローチ部の床版工が完成しています。昨年10月からは黒川を渡る区間の橋桁を設置する工事を進めており、全延長のおおむね半分が完成し、全体で約7割が完成している状況です。今後引き続き、当該工事を進めて行くとともに、土工区間、橋の区間の舗装工事や防護柵など交通安全施設の工事を行い、令和3年3月頃の開通を見込んでいます。



新阿蘇大橋工事進捗図 (2020年5月11日現在) ※国土交通省熊本復興事務所提供

## 今回の工法を選択した理由は？ (ラーメン箱桁橋について)

新阿蘇大橋の形式は「PC3径間連続ラーメン箱桁橋（PR1からA2区間のみ）」であり、下流にある阿蘇長陽大橋と同じ形式です。橋梁形式を決定する際に、阿蘇長陽大橋が熊本地震によって桁や橋脚にひび割れは発生したものの落橋することなく、早期に復旧することができたことも考慮し、同様の形式を採用しております。

## ラーメン橋とよく聞きますが どのような意味でしょうか？

上部工（主桁）と下部工（橋脚）を剛に連結して一体化した形式の構造で、橋桁の内部が空洞であるため、橋の重量を軽くすることができます。

ラーメンは「骨組み」を意味するドイツ語の (Rahmen) に由来し、耐震性に優れた構造で上部工と下部工が一体化されていることによって、地震が起きても落橋しにくい構造です。



ラーメン構造拡大図 ※国土交通省熊本復興事務所提供

## 今回の工事で苦勞した点は？

- ・災害復旧工事として、早期の復旧を実現するために3交代、24時間体制で工事を進めていること。
- ・新阿蘇大橋架設地点での急峻な地形および年間を通じて強風下での作業が見込まれたため、資機材の供給方法として、両岸に最大60tまで積載可能な国内最大規模のインクライン（荷物などを昇降運搬する装置）を使用したこと。



「地図に残る仕事」という文字  
この工事の意義の大きさを感じ取れます  
※国土交通省熊本復興事務所提供

## 今回の工事で特に気を使った点は？

24時間の不休体制での厳しい工程のなか、元請職員・作業員が一体となつて安全に対する意識を低下させることなく、高い安全意識を保つことにより、無事故・無災害を継続させることです。

## 他の橋梁とはここが違うという点があれば教えてください

橋梁の基礎となる部分を推定活断層を避けて配置するなど、新阿蘇大橋については、今後、仮に熊本地震と同程度の大規模災害が発生しても早期復旧が可能な構造を採用しています。

## 今回の工事に携わられての思いをお聞かせください

熊本地震から5年目となる今年度に「新阿蘇大橋」の完成を迎えます。そのタイミングで関わられた事は貴重な経験としてとてもうれしく思います。  
完成を待ち望んでおられる多くの方々がいることを常に意識して、引き続き取り組んでいきます。

## 南阿蘇村へのエールをお願いします

新型コロナウイルスで暗い話が多い中、南阿蘇地域の皆様、役場の皆様のご協力により、国道57号北側復旧ルート（令和2年10月頃）、国道325号阿蘇大橋ルート（令和3年3月頃）の開通見込みが発表されました。この開通が日々の生活や観光面に寄与し、南阿蘇村に明るい話題が増え、地域が盛り上がっていくことを期待しております。

## 南阿蘇村における熊本地震での被害状況など

### 人的被害（5月7日時点）

種別	人数
死亡者（関連死15人含む）	31
重傷者	31
軽傷者	120

### 家屋被害（り災証明発行数より）

被害の程度	件数
全壊	699
大規模半壊	187
半壊	802
一部損壊	1,173
合計	2,861

### 仮設団地などへの入居状況

種別	入居世帯数	最大時
建設型（4月30日現在）	17世帯	397世帯
	58人	1,048人
借上型（3月31日現在） （東海大学生を除く）	10世帯	386世帯
	36人	1,035人
借上型（東海大学生）	0世帯	682世帯
	0人	686人
合計	27世帯	1,465世帯
	94人	2,769人

## この人にインタビューしました

国土交通省熊本復興事務所

工務第1課 大川建設専門官

